

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

京セラSLCテクノロジー株式会社 京都綾部工場 第2工場

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境			0.30					2.9
1 音環境		1.6	0.15	-	-			1.6
1.1 騒音		1.0	0.67	-	-			
1 室内騒音レベル		1.0	1.00	3.0	-			
2 騒音経路対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		-	-	-	-			
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.33	3.0	-			
2 温熱環境		3.7	0.35	-	-			3.7
2.1 室温制御		3.7	0.50	-	-			
1 室温	室温を要求温度に保つよう温度制御を計画している	5.0	0.38	3.0	-			
2 稼働変動・遠隔制御		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 湿度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 稼働システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御	再熱制御及び加湿器制御を計画している	5.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.0	0.25	-	-			2.0
3.1 屋光利用		1.8	0.30	-	-			
1 屋光率		1.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-			
1 遮光器具の設置		-	-	-	-			
2 屋光制御		1.0	1.00	3.0	-			
3 遮光対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウスの換気を行っている	4.0	1.00	3.0	-			
2 VOCs対策		-	-	-	-			
3 カビ対策		-	-	-	-			
4 シンボ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量	外気量を多く導入し、室内の圧力を保つ計画としている	5.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		1.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 稼働計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		1.9	0.40	-	-			1.9
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		1.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	外装・内装材料に防汚性の高い材料を使用している	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外壁露出ダクトはガルバリウム鋼板を採用している	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			4.0	0.19			
1	空調・換気設備	ターボ冷凍機、空冷ヒートポンプチラーを設置する	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水機器、受水槽の二槽化、井水を利用している	5.0	0.20			
3	電気設備	発電機を設置、精密機器は地下に設置していない	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAにて配管支持を行う	4.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.3	0.29			4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31			
1	階高のゆとり	階高を5.8mとしている	5.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ	室形状を矩形とし、有効に活用している	5.0	0.40	5.0		
3.2 荷重のゆとり		耐荷重を4500N/mm2以上で設定している	5.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.1	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	天井懐に余裕がある	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制							
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光、コンプレッサーの熱を再利用している	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		太陽光発電、高効率照明器具を採用している	5.0	0.43			5.0
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	5.0				
		集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.5	0.29			3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	監視盤からの計測結果をもとに運用を図る	4.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型衛生器具を採用している	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装材を乾式工法にて行っている	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を使用している	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		CO2排出設備の排出量を低減する設備を採用している(チラーな	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			2.0	0.33			2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33			2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40			
1	風害の抑制		1.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			